番

1. 車社会や大量消費の生活様式

(I) 資料 I を見て、アメリカ合衆国の生活様式が大量生産・大量 消費である理由を考えてみよう。

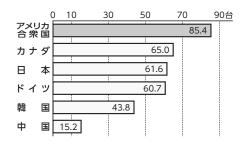
(2) 資料Ⅱから、自分の生活でも身近になっているものを挙げて みよう。



(3) 多くの国に販売や生産の拠点をもつ企業を何といいますか。



資料 I 100 人あたりの自動車保有台数

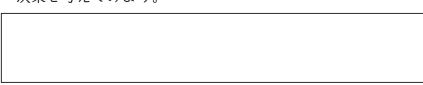


資料Ⅱ アメリカ合衆国生まれの大企業の本社

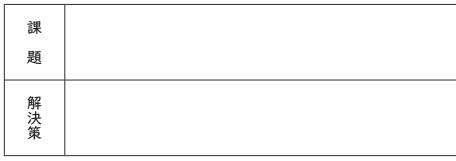


2. 持続可能な社会を実現するための課題

(I) 資料Ⅲから読み取れるアメリカ合衆国の課題を挙げ、その解 決策を考えてみよう。



(2) 資料IVから読み取れるアメリカ合衆国の課題を挙げ、その解決策を考えてみよう。



資料Ⅲ 主な国の廃棄物の処分方法

アメリカ合衆国	燃焼	リサイクル	1 00 × 1	か立てな	- Ti,
2.4億t (2015年)	12.8%	34.7	, <u>+±</u> 0	52.5	
			1		
EU28か国 2.3億t(2016年)	5.6 % 47.7			46.7	
.,		***************************************			
日本 * 0.4億t(2017年)		80.3%			18.7
*災害廃棄物を	ででいた値で	•d.			1.0

資料IV 世界のガソリン消費供給量と 二酸化炭素排出量の国別割合

₁ [2	ガソリンの消費(供給)量	二酸化炭素の排出量
] \ 	その他 合計 7メリカ 合衆国 11億t 37.3% 中国 11.5 11.5 2.9 日本 3.6 ラジル 3.0 メキシコ 3.0	中国 中国 28.2% 328 億t アメリカ 合衆国 14.5 14.5 ロシア 4.7

本時のまとめ	♦	持続可能な社会を目指す上で、アメリカ合衆国の生活様式にはどのような課題があるのか、説明しよう。